

令和元年度第2回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録

日時： 令和元年8月18日

場所： 東京八重洲ホール 514 号室

出席者：橋本晴男,落合孝則,久保田裕仁,齊藤宏之,津田洋子,中村憲司,宮内博幸,中原浩彦(記)

議題1： 産業衛生技術部会担当理事について

- ・ 部会担当の理事について、主担当：土肥誠太郎先生(三井化学)、副担当：上島通浩先生(名古屋市立大)の両名に決定したとの報告があった。

議題2： 第29回全国協議会(仙台)での部会主催行事について

- ・ 第29回全国協議会(仙台)での部会主催行事についての確認がなされた。
- ・ 幹事会は9/14(土)を予定しており、旭川学会等の企画内容を詰める。

議題3： 第93回日本産業衛生学会(旭川)での企画案について

- ・ 旭川での日本産業衛生学会における部会主催行事(専門研修会、産業衛生技術フォーラム、幹事会、総会)について行事は事務局に連絡済であることを確認した。
- ・ 企画内容を検討した結果、以下のテーマに実施する方針で検討することを決定した。9月中旬を目処に演者を学会事務局に連絡する必要があるため、演者への打診を進める。
 - 産業衛生技術フォーラム
「現場における有効な熱中症防止対策」(企画担当：齊藤、座長：齊藤または中原)
 - 専門研修会
「遠隔管理の産業衛生分野への応用」(企画担当：宮内、座長：橋本)
- ・ 前回企画運営委員会にて案として出していた「過労死など労働時間について」は、衛生管理者の関与できる範囲が狭いことから、現時点でテーマとして取り上げるのは適当ではないのではないか、との意見があった。また、「個人サンプラー」は、旭川では実施しないこととなった。

議題4： 第30回全国協議会(鹿児島)での部会主催行事について

- ・ 企画案は、年明けには確定する必要があることを確認した。
- ・ 現段階の案として、以下の案が出されて検討を進めることになった。
 - シンポジウム
「テレワークによる働き方改革」(企画担当：宮内)
テレワーク学会などとコンタクトして演者を探す。
鹿児島での開催になるので、九州地方の方に演者になっていただける方向で検討する。
演者が一名であれば教育講演形式も候補とする。
 - 研修会
「地元の衛生管理者による事例報告」

議題5： 広報委員会より

- ・ Web ページのリニューアルについて広報担当の齊藤委員より報告があった。
- ・ 議事録公開のタイミングとしては、メールで確認を行った上で速やかに掲載すべきということになった。
- ・ 学会主催行事の記録についても、新しい方から数年分は迎れるようにしてほしいとの意見が出た。
- ・ メーリングリストについて、会員のメールアドレスが更新されておらず、無効アドレスが多くなっているとの報告があった。学会本体の登録メールアドレスを使わせてもらえないか、学会側に打診する方向で検討することとした。

議題6： 奨励賞について

- ・ 奨励賞内規について、第一回拡大幹事会における指摘事項について確認した上で、受賞資格として、学会発表3回を追加する修正を行うこととした。
- ・ 第二回拡大幹事会にて承認を得た上で最終版としたい。
- ・ 奨励賞の候補者を募る必要があるので、幹事に依頼するとともに、Web ページでもアナウンスする。
- ・ 12月末までに推薦を部会長に提出し、2月末までに受賞者を決定する。

議題7： 来年度予算案について

- ・ 来年度予算案について、会計担当の中村委員より概ね前年度並みにしたいとの報告があった。

議題8：その他

(1) 企画運営委員会のメンバー補充について

- ・ 企画運営委員会のメンバーについて、新たに就任していただける方を検討することとなった。

(2) 産業衛生学会会員の状況について

- ・ 産業衛生学会会員の状況について、橋本部会長より報告があった。
- ・ 正会員数は 8275 人(前年度比+245 人)、技術部会は 1636 人(前年度比+34 名)。
- ・ 引き続き、会員の勧誘を行うこととした。

(3) 個人サンプラー測定の動向について

- ・ 個人サンプラー測定の動向について、橋本部会長より報告があった。
- ・ 当初見込まれていた個人ばく露測定ではなく、従来の作業環境測定に組み込む方針となりそうとのこと。
- ・ 部会主催行事として扱うには、来年秋の全国協議会(鹿児島)ではなく、再来年春の学会(松本)が適当ではないか？ との意見が出された。

(4) その他

- ・ 次回企画運営委員会は 12 月に開催予定。

以上